



令和7年3月24日（月）

東彼杵中だより

文責：校長 正尾 敏

第38号

3学期修了式を終えて

24日（月）をもちまして、令和6年度が終了しました。修了式では学年代表の生徒がそれぞれ1年間を振り返って、代表挨拶をしてくださいました。1年生は■■■■さんが1年間を通じてできるようになったこととして、「あいさつ」と「積極性」をあげ、2年生における目標を述べてくれました。2年生は■■■■くんが修学旅行での班活動や町おこし学習を通して学んだことを述べ、3年生では学校のリーダーとして自覚を持ち、後輩のお手本になると決意を述べてくれました。そして、生徒会代表として■■■■くんが、生徒会として次年度取り組むことの重点目標を掲げ、よりよい学校づくりに向けての決意を表明しました。

私からは次の学年へ向けて、挑戦することの大切さを講話で述べさせていただきます。以下に話の概要を紹介します。

★校長講話（1年間を振り返って）

先日の卒業式で山口教育長さんがとても印象深い話をされました。皆さんは「成功」の反対は何だと思えますか？という話です。覚えていますか？「成功」の反対「失敗」ではなく、「何もしないこと」「挑戦しないこと」とおっしゃいました。

人類はあらゆる失敗の歴史とともに成長してきました。失敗してきたからこそ、新しいものが発見されたり、発明されたりしてきています。ノーベルのダイナマイトの発明は有名ですが、失敗から生まれたものは無数にあるそうです。「失敗は成功の母」という意味に近い言葉を残したエジソンも、電球を発明する過程で失敗を重ねましたが、むしろそれを歓迎して成功に至りました。私は「失敗」は「成長」と同じ意味だと考えています。失敗の中で一つ一つ学んでいくのです。「教室は間違ふところ」という言葉もよく聞きますね。

最後に作家で俳優の中谷彰浩さんの言葉を紹介します。「人間は二通りしかいない。成功者と失敗者ではない。成功も失敗もする人と成功も失敗もしない人である」と言っています。皆さんには常識にとらわれることなく、思い切り挑戦することを忘れないでほしいと思います。

離任式（お世話になった先生方ありがとうございました）



■■■■先生



■■■■先生



■■■■先生



■■■■先生



■■■■先生



■■■■先生



■■■■先生

社会科の■■■■先生
事務職員の■■■■先生
支援員の■■■■先生
にもお世話になりました。
皆さん、ありがとうございました